

Intro

Jxck です。

このエントリは **sosukesuzuki** に向けた、非公開ポエムです。

2023/12/16(土) にサイボウズで、2019 年開催の会の、3 回目となる「次世代 Web カンファレンス」を開催しようと、有志の方の協力をいただいています。

Sosuke にはこのカンファレンスで、主に Web Frontend のツール周りについて議論する「**Tooling**」セッションのセッションオーナーをして頂きたいと考えています。

以下、必要なことを全てまとめたので、これをお読みいただいた上で、お受けいただけるかお返事を頂ければと思います。

poem

「Web について話す場」というか「Web そのものをテーマにした場」というのが、意外と無いなと思っていました。(結果として Web について話しているカンファレンスや勉強会はたくさんありますが。)

そして、多くの勉強会は何かの使い方や事例など、紹介的なニュアンスが強いと感じ、進化の早い Web で「今何が起きているか?」「これからどうなっていくのか?」という答えの無いもの、でもみんなが気になり考えていること、を真っ向から話す場というのがあっても良いのではないかと思っていました。

「議論」というのは、スライドを用意した「発表」の場でも、宣伝の場でもなく、そのテーマについて常に考え、調べ、コードを書き、アウトプットしている人たちを集めて話をすることです。

それは答えが無いものであり、聞くことで明確な何かを得る 세미나とも違います。

また、答えが無いがために、あまりまとまった形で出てこないことを共有し、書籍や雑誌などの媒体では書きにくく、発表形式の勉強会でもされにくいことを知ることには、一定の意味があると考えていたからです。

そこで、「これからの Web について本気で話す場」としての「次世代 Web カンファレンス」を開催し、もっと大きな単位で、みんなでその話をしたいという純粋な思いがありました。

俺が一人でできることではないので、場所や賛同者を募り、協力して頂ける人を探しています。

今回お願いしたいのは以下です。

お願いしたいセッション

今回は、複雑になりつつ日々トレンドが変わっていく Frontend のツール周り、特にフロントエンドインフラと呼ばれるような、Compiler, Linter, Bundler などについて、あらためて議論するセッションを作りたいと思っていました。そういうツールを用いてビルドパイプラインを組む仕事をしている人は多くいますが、今回はあえてそうしたツール自体の開発に携わっている方々を集め、開発者の目線からの議論を聞きたいと思っています。

もちろん Linter と Bundler では同じツールでもやっていることは違うでしょう。しかし、実際のツール群を見れば、例えば AST の生成までは共通しているといったように、オーバーラップしている部分は多々あり、Rust にするかしないかなど、同じようなテーマで議論する場面も多くあります。なにより、対象ユーザが Web の Frontend Engineer で

あることが多く、そのユーザがもつニーズ自体の変化は、どのツールでも同じように感じているものが多いと思います。

本番は台本もなく、資料もないので、議論の先導自体は Sosuke に任せますが、基本的には以下のような方向性になるかなと思っています。

- 今何がおこっているのか
 - 今の Web 開発においてツールに求められているものは何か
 - ツール開発におけるトレンドの変化
 - 日々開発に取り組む中で何を感じているか
- これからどうなっていくのか？
 - これからの Web Frontend 開発のツールに求められているもの、今足りてないものはなにか

Sosuke にはこの議論をする相手として、3 人の登壇者を一緒に決めて、議論を作ってもらいたいと思っています。

その他

基本的な意図が伝わったら、それ以降の話、出演者やテーマ、具体的な内容など、基本的にはセッションオーナーにお任せします。

当日はスタッフとしても多少お手伝い頂きたいですが、それまでは基本的にはこのセッションの準備などをお願いしたいです。

いくつか細かいお願いです。細かい点は変わるかもしれませんが、その場合はご相談します。

セッションの時間

セッションは 90min で組みたいと考えています。これはそのくらい話さないと浅いところで終わってしまうと考えているからです。ただ、場合によっては増やせるかもしれませんが、そのときはご相談します。

配信

基本的には配信したいので、その点は先に了承ください。これは、アーカイブとして残す意味と、遠方の方・スタッフのフォローをしたいからです。ただし、リアルタイムな配信ではなく、録画+後日配信になる可能性はあります。

出演形態

基本的に、すべての出演者には、組織の代表としての出演ではなく、一個人としての出演という形で依頼させていただきます。

カンファレンス自体を「すべての出演者の発言は帰属する組織とは関係ない」という趣旨にあらかじめしたいのと、サービスや自分自身の宣伝目的、転職の勧誘目的などで出てほしく無いという思いがあるからです。

また、有志のよる無料のイベントなので、出演者の方への出演費などは一切ありません。むしろ出ていただく方々にも多少スタッフ的な動きをお願いする可能性すらあります。事前にお伝えください。

自己紹介

スライドを用意して数分話せば全員で 5, 10 分とかすぐにすぎてしまいますが、来場者は、自己紹介ではなく議論を聞きに来てもらいますので、そこで時間を取らないで欲しいです。セッションオーナーに代わりに簡単に紹介して頂きます。

カンファレンス自体の趣旨

ここまでに書いたのは、セッション自体の依頼です。

一方、このカンファレンスは、他のカンファレンスとちょっと違う思想で集まっています。

なので、このカンファレンス自体の趣旨、ポリシーなどについて、出演者の方々と共有しているものがあります。

上述と重複する部分がありますが、合わせてご確認頂き、納得頂いた上でお引き受け頂ければと思います。

[次世代 Web カンファレンス 2023 - Google ドキュメント](#)

他の登壇者を依頼する場合も、これを見て頂き、納得した上で引き受けていただければと思います。

まとめ

- 次世代 Web カンファレンスで、Tooling のセッションに出演してほしい
- Sosuke を中心に、初心者とか全く無視した、ゴリゴリの議論をしてほしい。
- 今の Web Frontend 抱えている課題や、そこに応じたツールの変化について思う存分議論してほしい

以上のような趣旨でご賛同頂ける場合は、お返事を頂ければと思います。

是非よろしくお願いいたします。

Jxck